

平成23年度特別会計予算

国民健康保険をはじめとする特別会計の予算総額は151億6480万円で、前年度と比較すると1.0%増となっています。(平成23年度から老人保健特別会計は廃止となります。)

平成23年度企業会計予算

水道事業は24億6540万円、病院事業は59億2300万円で、合計の企業会計予算総額は、83億8840万円となり、前年度と比較すると1.6%増となっています。

平成22年度一般会計補正予算

今回の補正予算のうち、第5号補正では、主に補助事業費精算のため5億4840万円を減額し、第6号補正では、主に住宅の耐震補強工事補助金のため2670万円を増額しました。これにより、平成22年度予算総額は306億2300万円となりました。

条例（主なもの）

《制定》 袋井市防犯まちづくり条例の制定について

防犯活動の基本的な考え方や、市及び市民の役割を定め、「犯罪のない安全で安心なまちづくり」を進めていくことを目的として制定するものです。

《改正》 袋井市国民健康保険条例の一部改正について

出産育児一時金については暫定的に42万円支給していましたが、健康保険法施行令の改正により、本年4月1日から恒久化するため、必要な改正を行うものです。

その他

新病院建設特別委員会からの報告

2月15日に新病院建設特別委員会が開催され、次の報告事項について議論が交わされました。

新病院建設実施設計の進捗状況

新病院における現病院の資産、負債、資本の取り扱い

退職金(原資)の取り扱い

市民説明会

掛川市・袋井市新病院建設事務組合議会全員協議会及び定例会

討論

会派より

「平成23年度袋井市一般会計予算について」に対して

反対討論（要旨）

日本共産党

国の方針の「手直し」による地方交付税の増額や都市計画税の増収により、一定の地方財源の確保がされている。この財源を、国民健康保険税の引き下げや、子ども医療費無料化の年齢拡充などの子育て支援、住宅リフォーム助成など、市民の厳しい生活と安全な暮らしに対して支出すべきであるが、不十分であることから賛成できない。

賛成討論（要旨）

自民ふくろい

編成された予算は、厳しい経済情勢、財政状況の中、新規市債の発行額を償還額以下に抑制することにより、市債の残高を確実に減少させる基本姿勢が見られる。また、「子どもにツケを回さない」という財政運営の要諦が貫かれた、収支バランスの良い健全性が保たれた予算であると評価することから賛成するものである。